

関東大学リーグ戦最終週結果 東洋大初優勝、新時代の幕開け ボクシング

2019.7.17



初優勝を喜ぶ東洋大ボクシング部

13日に都内の後楽園ホールで、第72回関東大学ボクシングリーグ戦の最終戦が開催された。

1部リーグ第1試合の東洋大と中大は、6対3で東洋大が勝利した。第2試合、拓大対駒大は5対4で拓大が勝利した。第3試合の日大対東農大は、5対4で東農大が勝利した。4勝1敗で日大、東農大、東洋大の三校が並び、勝ち点1差で東洋大が日大をリードし、1961年の創部以来、初めて関東大学ボクシングリーグ戦1部リーグで優勝した。日大のリーグ戦連覇は5で途絶えた。前日、大阪でプロボクシングWBA世界ミドル級タイトルマッチを戦い、歴史的な王座返り咲きを果たした東洋大ボクシング部OBでロンドン五輪金メダリストの村田諒太さんも母校の応援に駆けつけた。

東洋大の三浦数馬監督は「私は常々、チーム一丸となって練習の時から元気にパンチを出すように言っているだけ。元気があることは恥ずかしいことではない。キャプテンの木村蓮太郎が中心となり、試合に出る選手のみならず、リングに上がれず応援している部員も含め、チームがもたらした優勝だ。常に『名門』といわれる大学を目標、ライバルとしてきたが、東洋大に学生を送ってくれた高校の指導者、例えば、村田諒太の高校の恩師である故武元前川先生も日大出身、ライバル大学出身者であり、ライバル大学がいなければ、東洋大の優勝はなかった。そういった意味では、すべてのライバルとなった大学に感謝します」とコメントした。

2部リーグ第1試合の慶大対専大は、5対2で慶大が勝利した。第2試合、日体大対立大は4対3で立大が勝利した。第3試合、法大対平国大は、6対1で法大が勝利し、

法大が全勝優勝を決めた。

各リーグの最下位校と優勝校とが戦う入替戦は、20日12時から駒澤大学玉川キャンパスボクシング場（世田谷区）で開催される。組み合わせは、神奈川工科大（4部最下位）対法政大学第二体育会（5部優勝）、早大（3部最下位）対國學院大（4部優勝）、専大（2部最下位）対大東大（3部優勝）、中大（1部最下位）対法大（2部優勝）。（岩崎仁）

・関東大学ボクシングリーグ戦official website

<http://www.kantouniv-boxing.jp/>

1部リーグ最終順位

1位・東洋大、2位・日大、3位・東農大、4位・拓大、5位・駒大、6位・中大

2部リーグ最終順位

1位・法大、2位・慶大、3位・日体大、4位・立大、5位・平国大、6位・専大

・関東連盟三賞

最優秀選手賞 東洋大4年 木村蓮太郎（飛龍・全日本L級2位）

技能賞 駒大2年 完山隼輔（西宮香風）

敢闘賞 日大3年 石灘隆哉（享栄・全日本W級3位）

・階級賞

L F級 東洋大2年 川谷剛史（豊国）

F級 日大4年 飯村樹輝弥（日出・全日本F級5位）

B級 東農大4年 韓亮昊（大阪朝鮮）

L級 東洋大4年 木村蓮太郎（飛龍・全日本L級2位）

L級 駒大2年 完山隼輔（西宮香風）

L W級 該当者なし

W級 日大3年 石灘隆哉（享栄・全日本W級3位）

M級 日大2年 荒本一成（王寺工業・全日本W級5位）

・2部リーグ 優秀選手賞 立大4年 増田陸（広陵・全日本F級6位）

7月13日最終戦

1部リーグ結果

東洋大（6）－中大（3）、拓大（5）－駒大（4）、日大（4）－東農大（5）

2部リーグ結果

慶大（5）－専大（2）、日体大（3）－立大（4）、法大（6）－平国大（1）

2部リーグ第1試合

（左）慶大（5）－（右）専大（2）

【ライトフライ級】

○古山皓介（新潟江南・全日本LF級6位）ポイント（5－0）×松浦遼太（福井）

【フライ級】

○桑満隆生（慶應）ポイント（5－0）×荒巻壱成（東福岡）

【バンタム級】

○井上慈元（広陵）RSC・3R2分39秒×玉木秀人（沼南）

【ライト級】

×松木健太（鎌倉学園）ポイント（1－4）○古殿涼（習志野）

【ライトウェルター級】

×松村和弥（浅野）ポイント（0－5）○清水陸翔（太田東・高校L級7位）

【ウェルター級】

○北岡秀石（清風）ポイント（5－0）×工藤慎也（盛岡南）

【ミドル級】

○武智琉馬（新田）ポイント（5－0）×田島正樹（武相）

2部リーグ第2試合

（左）日体大（3）－（右）立大（4）

【ライトフライ級】

不戦○田嶋柊汰（久居）

【フライ級】

×根井鷹弥（糸島農業）ポイント（0－5）○増田陸（広陵・全日本F級6位）

【バンタム級】

○藤原真仁（長崎鶴洋）RSC・2R2分44秒×杉浦友馬（鎌倉学園）

【ライト級】

○落合将平（小山）ポイント（3 - 2）×中島慶起（小金井北）

【ライトウェルター級】

×堀尾裕司（武相）ポイント（0 - 5）○木戸口謙辰（北海学園札幌・全日本LW級7位）

【ウェルター級】

×小森勇典（小山）ポイント（1 - 4）○松永麟太郎（日大藤沢）

【ミドル級】

○西田浩樹（関西）RSC・1R56秒×高野陸（京華）

2部リーグ第3試合

（左）法大（6） - （右）平国大（1）

【ライトフライ級】

○河本航太生（東福岡・高校LF級10位）ポイント（3 - 2）×箭柏鳳成（日大山形）

【フライ級】

○馬場叶夢（崇徳）ポイント（5 - 0）×吉田明広（流山）

【バンタム級】

×大橋洸（広陵・全日本B級7位）ポイント（2 - 3）○與座・ディシャーン・ジュニア（豊見城）

【ライト級】

○貫井侃偉斗（水戸葵陵）ポイント（5 - 0）×住吉夏希（安西）

【ライトウェルター級】

○佐藤眞男（駿台学園）ポイント3R（3 - 2）×千田亮（花咲徳栄）

【ウェルター級】

○村元秀平（弘前工業）DSQ・3R1分3秒×横内龍也（花咲徳栄）

【ミドル級】

○山川宗一郎（旭川工業）RSC・1R1分20秒（5 - 0）×西邑蓮（千葉経済）

1部リーグ第1試合

(左) 東洋大 (6) - (右) 中大 (3)

【ライトフライ級】

○川谷剛史 (豊国) ポイント (5 - 0) ×金谷勇利 (相生学院)

【フライ級】

×田村拓実 (崇徳) ポイント (1 - 4) ○永田丈晶 (熊本工業)

【バンタム級 (1)】

○堤駿斗 (習志野・全日本B級3位) ポイント (5 - 0) ×山本豊光 (菟道)

【バンタム級 (2)】

×馬場佳成 (王寺工業・高校F級7位) ポイント (0 - 5) ○松下竜之助 (崇徳)

【ライト級 (1)】

○木村蓮太郎 (飛龍・全日本L級2位) RSC・2R 1分52秒 ×築丈一 (作新学院)

【ライト級 (2)】

○今永虎雅 (王寺工業・全日本L級3位) RSC・3R 1分43秒 ×村野航 (南平)

【ライトウェルター級】

×渡来美響 (武相) ポイント (1 - 4) ○冨田真広 (静清・全日本LW級3位)

【ウェルター級】

○田中廉人 (享栄・全日本M級9位) ポイント (5 - 0) ×五ノ井一幸 (金沢工業・全日本W級9位)

【ミドル級】

○須永大護 (駿台・高校M級王者) ポイント (5 - 0) ×吉村悠 (岐阜工業)

1部リーグ第2試合

(左) 拓大 (5) - (右) 駒大 (4)

【ライトフライ級】

×武市大樹 (新田・高校P級4位) ポイント (0 - 5) ○長谷部大地 (倉敷翠松・全日本LF級1位)

【フライ級】

○野上翔 (杵島商業・高校F級6位) ポイント (5 - 0) ×杉山広将 (中京学院大学付属中京)

【バンタム級（1）】

×及川天斗（黒沢尻工業）ポイント（1 - 4）○松下秀（倉敷翠松）

【バンタム級（2）】

○福来龍神（江南義塾・高校F級1位）ポイント（5 - 0）×川副悠河（境港総合技術）

【ライト級（1）】

×古川龍之介（青森工業・高校L級2位）ポイント（0 - 5）○嶋田淳也（興國・全日本L5位）

【ライト級（2）】

×川口大夢（葛西工業）ポイント（1 - 4）○完山隼輔（西宮香風）

【ライトウェルター級】

○柴山尊文（開新・全日本LW級2位）ポイント（4 - 1）×藤山義範（西宮香風・全日本LW級9位）

【ウェルター級】

○関根幸太郎（花咲徳栄）ポイント（4 - 1）×中川凌太（興國）

【ミドル級】

○梅村錬（江南義塾・全日本M級3位）ポイント（3 - 2）×若谷豪（花咲徳栄）

1部リーグ第3試合

（左）日大（4） - （右）東農大（5）

【ライトフライ級】

×松本流星（日出・全日本LF級3位）ポイント（1 - 4）○片岡亜沙人（習志野・全日本LF級2位）

【フライ級】

○飯村樹輝弥（日出・全日本F級5位）ポイント（3 - 2）×中垣龍汰朗（日章学園・全日本F級9位）

【バンタム級（1）】

×小川寛樹（千葉経済）ポイント（0 - 5）○松本佳佑（みなと総合・全日本B級1位）

【バンタム級（2）】

×西岡伶英（花咲徳栄・高校B級7位）ポイント（2 - 3）○韓亮昊（大阪朝鮮）

【ライト級（1）】

○金子虎旦（日出・全日本B級2位）ポイント（4 - 1）×國分奨悟（会津工業）

【ライト級（2）】

×中村洸太（千葉経済）ポイント2R（0 - 5）○堤龍之介（日章学園・高校L級2位）

【ライトウェルター級】

×伊藤秀虎（鶴崎工業）RSC・2R2分23秒○齋藤麗王（日章学園）

【ウェルター級】

○石灘隆哉（享栄・全日本W級3位）ポイント（5 - 0）×宇佐美正パトリック（興國・高校W級王者）

【ミドル級】

○荒本一成（王寺工業・全日本W級5位）ポイント3R（5 - 0）×野上昂生（鹿町工業・高校M級1位）

©2017 The Sankei Shimbun & SANKEI DIGITAL